保存版 …取り出しやすい場所に保管しておきましょう

那智勝浦町【南部】
洪水・土砂災害ハザードマップ

索引図

土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、「がけ崩れ」や「土石流」、「地すべり」といった土砂災害を引き起こす可能性があります。これらが発生するときには、多くの場合、何らかの前兆現象が現われます。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、速やかに安全な場所へ避難してください。

土砂災害の種類には、大きく分けて3つのタイプがあります。自分の周りの土砂災害危険箇所がどのタイプであるか確認しておきましょう。

がけ崩れ	土石流	地すべり
地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。	長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。	大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわたりゆっくりと動きだすものをいいます。

避難場所

- 一次避難場所
- 中核避難場所

洪水浸水想定区域

浸水深
- 5.0m以上
- 2.0m～5.0m未満
- 1.0m～2.0m未満
- 0.5m～1.0m未満
- 0.5m未満

避難情報を入手して早めの行動を

災害の危険性が高まったとき、那智勝浦町から避難情報が発表されます。どの情報かを判断し、適切な行動をとってください。

避難情報	避難準備情報	住民に求める行動 避難の準備を始めてください。	避難の準備を整え、ラジオやテレビの情報に十分注意してください。 災害時要援護者の方を指定された避難所へ避難させるため、避難支援者は支援行動を開始してください。
	避難勧告	避難を始めてください。	家族・近所の方と助け合いながら、速やかに避難を開始してください。 災害時要援護者の方は避難を完了してください。
	避難指示	ただちに避難してください！	危険が迫っています。一刻も早く避難を完了してください。 避難行動に危険が伴うような状況では無理をしないで、安全な場所で救助を待つ等、生命を守る最低限の行動を開始してください。

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

状況により、すばやく避難しましょう
避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

防災メモを持とう
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

車での避難は控えて
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

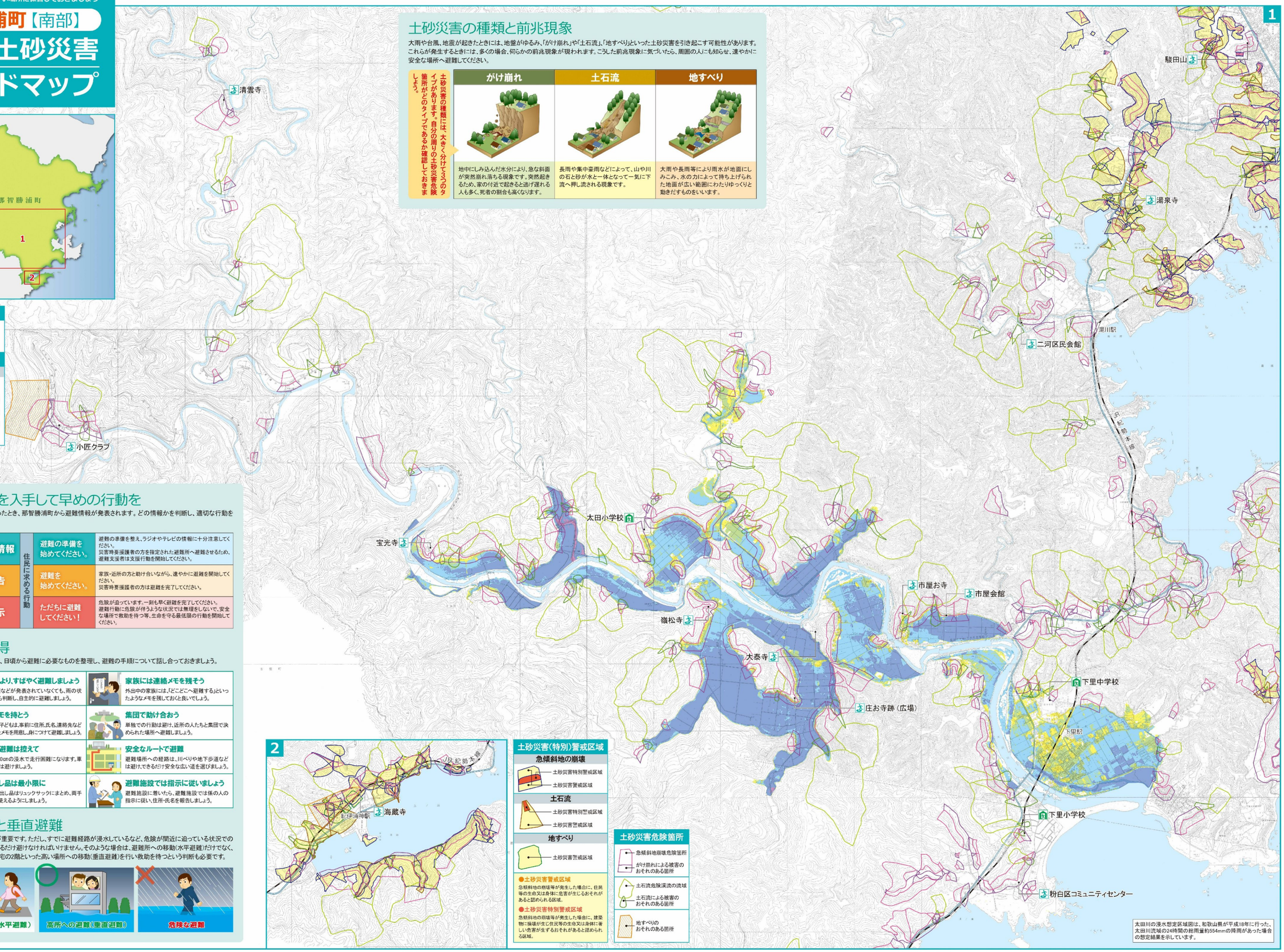
安全なルートで避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

避難施設では指示に従いましょう
避難施設に着いたら、避難施設では係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。



このマップの縮尺 1：12,500　0　500　1000m

【発行】那智勝浦町役場　〒649-5392 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字築地7丁目1-1 TEL 0735-52-0555(代表)　平成26年3月作成